

2 期制	3 期制	月	配 当 時 間	教材名	単元目標／児童のため(Goal)／ 「Lessonをふりかえろう」確認事項	扱う内容、表現例・語彙例 (下線は新出※)	パート	中心領域					評価規準								
								聞く	読む	話す [やり 取り]	話す [発表]	書く	領域	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度					
前期	1 学期	4	7 (8)	2	Let's Start Together (pp.6-11)	3・4年生で慣れ親しんだ英語を聞いて、イラストの中からあてはまるものにふれたり、アルファベットをさがしたりすることができる。	アルファベット 語彙：学校 / 食べ物 / 動物 / 身のまわりのもの	1~3	○						—	—	—				
				Lesson 1 Nice to meet you. (pp.12-19)	自分のことをよく知ってもらったり、相手のことをよく知ったりするために、名前や好きな食べ物、動物、スポーツなどについて聞き取ったり、伝えあったり、話したりすることができる。	あなたのことを友達に知ってもらおう  Lessonをふりかえろう ＜知技＞ ①自分の名前や、好きなものの表現を知り、聞いたり言ったりすることができた。 ②アルファベットの名前を聞いてどの文字かがわかり、読むことができた。 ③自分のことを知ってもらうために、わかりやすく自己紹介ができた。	＜思判表＞ ④話し手が話しやすいように聞き方をくふうしたり、聞き手にわかりやすいように話し方をくふうしたりした。	＜主＞ 活動でくふうしたことや気づいたこと、これからの学習でいかしたいと思ったことは何か。	・Nice to meet you. — Nice to meet you, too. ・Hello, I'm (Ayaka). <u>Please call me (Aya).</u> ・My name is (Sonoda Akie). ・Do you like (yellow)? — Yes, I do. / No, I don't. ・I like (dogs). I don't like (cats). ・What (color) do you like? ・I have (a towel). I don't have (a bag). ・Oh. / <u>Me, too.</u> / <u>Really?</u> / <u>I see.</u>	1	○					聞く	＜知識＞ 自分の名前や好きなものを伝える表現(I like【食べ物等】.、Do you like【スポーツ等】?.、Yes, I do.、What (color) do you like?等)について理解している。 ＜技能＞ 自分の名前や好きなものを伝える表現(I like【食べ物等】.、Do you like【スポーツ等】?.、Yes, I do.、What (color) do you like?等)について、聞き取る技能を身に付けている。	友達のことを知るために、友達の自己紹介で、名前、好きな食べ物、動物、スポーツ等について、簡単な語句や基本的な表現を聞き取っている。	友達のことを知るために、友達の自己紹介で、名前、好きな食べ物、動物、スポーツ等について、これまでの学習の中で気づいたことを活かしながら、簡単な語句や基本的な表現を聞き取ろうとしている。		
									2	○					読む	＜知識＞ アルファベットの大文字の名前の読み方について理解している。 ＜技能＞ アルファベットの大文字について、名称読みする技能を身に付けている。	自分の名前を相手にしっかりと伝えるために、アルファベットの大文字を示しながら、自分の名前のスペル(アルファベット)を言っている。	自分の名前を相手にしっかりと伝えるために、アルファベットの大文字を示しながら、これまでの学習の中で気づいたことを活かしながら、自分の名前のスペル(アルファベット)を言おうとしている。			
									3	○	○	○			話す [やり 取り]	＜知識＞ 自分の名前や好きなものを伝える表現(I like【食べ物等】.、Do you like【スポーツ等】?.、Yes, I do.、What (color) do you like?等)について理解している。 ＜技能＞ 自分の名前や好きなものを伝える表現(I like【食べ物等】.、Do you like【スポーツ等】?.、Yes, I do.、What (color) do you like?等)について、伝え合う技能を身に付けている。	お互いのことを知るために、名前、好きな食べ物、動物、スポーツ等について、簡単な語句や基本的な表現を用いて、伝え合っている。	お互いのことを知るために、名前、好きな食べ物、動物、スポーツ等について、これまでの学習の中で気づいたことを活かしながら、簡単な語句や基本的な表現を用いて、伝え合おうとしている。			
		4		○		○		話す [発表]	＜知識＞ 自分の名前や好きなものを伝える表現(I like【食べ物等】.、Do you like【スポーツ等】?.、What (color) do you like?等)について理解している。 ＜技能＞ 自分の名前や好きなものを伝える表現(I like【食べ物等】.、Do you like【スポーツ等】?.、What (color) do you like?等)について、発表する技能を身に付けている。	友達に自分のことを知ってもらうために、好きな食べ物、動物、スポーツ等について、簡単な語句や基本的な表現を用いて、発表している。	友達に自分のことを知ってもらうために、好きな食べ物、動物、スポーツ等について、これまでの学習の中で気づいたことを活かしながら、簡単な語句や基本的な表現を用いて、発表しようとしている。										
		5		アルファベットの大文字の名前 / Lessonのふりかえり	The Alphabet ①	○	○					書く	—	—	—						
		7	6	Lesson 2 When is your birthday? (pp.20-29)	自分のことをよく知ってもらったり、相手のことをよく知ったりするために、誕生日やほしいものなどについて聞き取ったり、伝えあったりし、カレンダーに記録することができる。	クラスのたんじょう日カレンダーをつくらう  Lessonをふりかえろう ＜知技＞ ①月日の表現を知り、聞いたり言ったりすることができた。 ②アルファベットの大文字のなぞり書きができた。 ③自分のたんじょう日を伝えたり、友達のたんじょう日をたずねたりすることができた。	＜思判表＞ ④話し手が話しやすいように聞き方をくふうしたり、聞き手にわかりやすいように話し方をくふうしたりした。	＜主＞ 活動でくふうしたことや気づいたこと、これからの学習でいかしたいと思ったことは何か。	・When is your birthday? ・My birthday is (January 8th). ・I like (December). ・Do you like (December)? ・What do you want for your birthday? ・I want (shoes).	1	○					聞く	＜知識＞ 月日の語句や、誕生日について尋ねたり答えたりする表現(When is your birthday?.、My birthday is【月日】.等)について理解している。 ＜技能＞ 月日の語句や、誕生日について尋ねたり答えたりする表現(When is your birthday?.、My birthday is【月日】.等)について、聞き取る技能を身に付けている。	友達のことを知るために、誕生日や好きな月について、簡単な語句や基本的な表現を聞き取っている。	友達のことを知るために、誕生日や好きな月について、これまでの学習の中で気づいたことを活かしながら、簡単な語句や基本的な表現を聞き取ろうとしている。		
									2	○		○									
									3	○		○			読む	＜知識＞ アルファベットの大文字の名前の読み方や形について理解している。	—	—	—		
									4			○			話す [やり 取り]	＜知識＞ 月日の語句や、誕生日について尋ねたり答えたりする表現(When is your birthday?.、My birthday is【月日】.等)について理解している。 ＜技能＞ 月日の語句や、誕生日について尋ねたり答えたりする表現(When is your birthday?.、My birthday is【月日】.等)について、伝え合う技能を身に付けている。	お互いのことを知るために、誕生日や好きな月について、簡単な語句や基本的な表現を用いて、伝え合っている。	お互いのことを知るために、誕生日や好きな月について、これまでの学習の中で気づいたことを活かしながら、簡単な語句や基本的な表現を用いて、伝え合おうとしている。			
				アルファベットの大文字の名前 / 大文字の書き方	The Alphabet ②	○	○	○				話す [発表]	—	—	—						
				語句の確認 / 語強勢 / Lessonのふりかえり	Review	○	○						書く	＜知識＞ アルファベットの大文字の形について理解している。 ＜技能＞ アルファベットの大文字を書き写す技能を身に付けている。	—	—					

2 期制	3 期制	月	配 当 時 間	教材名	単元目標／児童のめあて(Goal)／ 「Lessonをふりかえろう」確認事項	扱う内容、表現例・語彙例 (下線は新出※)	パート	中心領域					評価規準							
								聞く	読む	話す [やり 取り]	話す [発表]	書く	領域	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度				
前期	1 学期	6		Lesson 3 I have P.E. on Monday. (pp.30-39)	自分のことをよく知ってもらったり、相手のことをよく知ったりするために、夢の時間わりをつくり、好きな曜日や教科、だれと学びたいかについて聞き取ったり、伝えあったり、話したりすることができる。  夢の時間わりをつくらう Lessonをふりかえろう ＜知技＞ ①教科や時間わりについての表現を知り、聞いたり言ったりすることができた。 ②アルファベットの小文字のなぞり書きができた。 ③夢の時間わりを考えて、伝えることができた。	・What do you have on (Tuesday)? ・I have (math, English, and music) on (Tuesday). ・I study (P.E.) with (Hachimura Rui). ・What day is it? ・Good idea!	1	○					聞く	<知識> 教科・曜日の語句や、時間割について表す表現(I have【教科】、Is it【曜日】?、I study【教科】with【人】)について理解している。 <技能> 教科・曜日の語句や、時間割について表す表現(I have【教科】、Is it【曜日】?、I study【教科】with【人】)について、聞き取る技能を身に付けている。	友達と考えた夢の時間割を知るために、教科や時間割などについて、簡単な語句や基本的な表現を聞き取っている。	友達と考えた夢の時間割を知るために、教科や時間割などについて、これまでの学習の中で気づいたことを活かしながら、簡単な語句や基本的な表現を聞き取ろうとしている。				
						2	○		○					読む	<知識> アルファベットの小文字の名前の読み方や形について理解している。	—	—			
						3	○		○						話す [やり 取り]	<知識> 教科・曜日の語句や、時間割について表す表現(I have【教科】、Is it【曜日】?、I study【教科】with【人】)について理解している。 <技能> 教科・曜日の語句や、時間割について表す表現(I have【教科】、Is it【曜日】?、I study【教科】with【人】)について、伝え合う技能を身に付けている。	お互いの夢の授業やクイズで出題された曜日を知るために、教科や時間割などについて、簡単な語句や基本的な表現を用いて、伝え合っている。	お互いの夢の授業やクイズで出題された曜日を知るために、教科や時間割などについて、これまでの学習の中で気づいたことを活かしながら、簡単な語句や基本的な表現を用いて、伝え合おうとしている。		
						4				○					話す [発表]	<知識> 教科・曜日の語句や、時間割について表す表現(I have【教科】、Is it【曜日】?、I study【教科】with【人】)について理解している。 <技能> 教科・曜日の語句や、時間割について表す表現(I have【教科】、Is it【曜日】?、I study【教科】with【人】)について、発表する技能を身に付けている。	友達に自分が考えた夢の時間割を知ってもらうために、教科や時間割などについて、簡単な語句や基本的な表現を用いて、発表している。	友達に自分が考えた夢の時間割を知ってもらうために、教科や時間割などについて、これまでの学習の中で気づいたことを活かしながら、簡単な語句や基本的な表現を用いて、発表しようとしている。		
							アルファベットの小文字の名前 / 小文字の書き方	The Alphabet ③	○	○			○	話す [発表]	<知識> 教科・曜日の語句や、時間割について表す表現(I have【教科】、Is it【曜日】?、I study【教科】with【人】)について理解している。 <技能> 教科・曜日の語句や、時間割について表す表現(I have【教科】、Is it【曜日】?、I study【教科】with【人】)について、発表する技能を身に付けている。	友達に自分が考えた夢の時間割を知ってもらうために、教科や時間割などについて、簡単な語句や基本的な表現を用いて、発表している。	友達に自分が考えた夢の時間割を知ってもらうために、教科や時間割などについて、これまでの学習の中で気づいたことを活かしながら、簡単な語句や基本的な表現を用いて、発表しようとしている。			
							bとpを含む英語とカタカナ語の発音の違い / bとpの音とつづり・聞き取り・発話	Sounds and Letters	○	○			○	書く	<知識> アルファベットの小文字の形について理解している。 <技能> アルファベットの小文字を書き写す技能を身に付けている。	—	—			
							語句の確認 / 語強勢 / Lessonのふりかえり	Review	○	○										
				1		Let's Read and Act ① 大事なことを覚えておこう (p.40)	学校生活のきまりごとや防災訓練での指示を英語で聞いて理解したり、自分で言ったりすることができる。	・Greet your friends. ・Wash your hands. Gargle. ・Work together. ・Don't push. Don't run. など							—	—	—			
						Let's Look at the World ① (p.41)	SDGs をふまえ、世界の学校の様子を知り、海外の学校生活にちがいがあことに気づく。								—	—	—			
		2 学期	9 7	9	7	Lesson 4 This is my dream day. (pp.42-51)	自由な時間や一日があれば、どのように過ごしたいかなどについて聞き取ったり、話したり、伝えあったりすることができる。また、アルファベットの大文字を書くことができる。(直線だけの文字)  自由な一日があったら、何をしたいか伝えよう Lessonをふりかえろう ＜知技＞ ①時刻や日課の表現を知り、聞いたり言ったりすることができた。 ②自由な一日があったらどのように過ごすかを考えて、伝えることができた。  ＜思判表＞ ③話し手が話しやすいように聞き方をくふうしたり、聞き手にわかりやすいように話し方をくふうしたりした。  ＜主＞ 活動でくふうしたことや気づいたこと、これからの学習でいかしたいと思ったことは何か。	・What time is it in (Boston)? ・It's (seven o'clock in the morning). ・What time do you (get up)? ・I (get up) at (six). ・I (always) (wash the dishes). ・What do you do in the morning [afternoon]? ・I (catch insects) in the morning [afternoon].	1	○					聞く	<知識> 時刻・日課・頻度の語句や、日課を表す表現(What time do you【日課】?、I【日課】at【時刻】、What do you do in the morning [afternoon]?、I【日課】in the morning [afternoon]?)について理解している。 <技能> 時刻・日課・頻度の語句や、日課を表す表現(What time do you【日課】?、I【日課】at【時刻】、What do you do in the morning[afternoon]?、I【日課】in the morning[afternoon]?)について、聞き取る技能を身に付けている。	友達の自由な一日の過ごし方について知るために、理想の日課について、簡単な語句や基本的な表現を聞き取っている。	友達の自由な一日の過ごし方について知るために、理想の日課について、これまでの学習の中で気づいたことを活かしながら、簡単な語句や基本的な表現を聞き取ろうとしている。		
2	○								○						読む	—	—	—		
3	○									○					話す [やり 取り]	<知識> 時刻・日課・頻度の語句や、日課を表す表現(What do you do in the morning[afternoon]?、I【日課】in the morning [afternoon]?)について理解している。 <技能> 時刻・日課・頻度の語句や、日課を表す表現(What do you do in the morning[afternoon]?、I【日課】in the morning[afternoon]?)について、伝え合う技能を身に付けている。	お互いの自由な一日の過ごし方について知るために、一日の過ごし方について、簡単な語句や基本的な表現を用いて、伝え合っている。	お互いの自由な一日の過ごし方について知るために、一日の過ごし方について、これまでの学習の中で気づいたことを活かしながら、簡単な語句や基本的な表現を用いて、伝え合おうとしている。		
4	○								○						話す [発表]	<知識> 時刻・日課・頻度の語句や、日課・習慣を表す表現 (I【日課】at【時刻】、I【頻度】【習慣】)について理解している。 <技能> 時刻・日課・頻度の語句や、日課・習慣を表す表現 (I【日課】at【時刻】、I【頻度】【習慣】)について、発表する技能を身に付けている。	—	—		
											fとvを含む英語とカタカナ語の発音の違い / fとvの音とつづり・聞き取り・発話	Sounds and Letters	○	○			○	書く	—	—
											アルファベットの大文字の書き方の復習(直線だけの文字) / 語句の確認 / 文強勢 / Lessonのふりかえり	Review	○	○			○		—	—

2 期 制	3 期 制	月	配 当 時 間	教材名	単元目標／児童のめあて(Goal)／ 「Lessonをふりかえろう」確認事項	扱う内容、表現例・語彙例 (下線は新出※)	パート	中心領域					評価規準									
								聞く	読む	話す [やり 取り]	話す [発表]	書く	領域	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度						
前期		9		Lesson 5 I can run fast. (pp.52-61)	自分のできることをしようかいるために、できることについて、その内容を聞き取ったり、伝えあったり、話したりすることができる。また、自分の名前やアルファベットの大文字を書くことができる。(曲線だけの文字)  クラスのみんなの「できること」を集めよう  Lessonをふりかえろう <知技> ①できることの伝え方やたずね方を知り、聞いたり言ったりすることができた。 ②自分と相手以外の人を表す he と she がわかった。 ③できることを伝えたり、たずねたりすることができた。  <思判表> ④話し手が話しやすいように聞き方をくふうしたり、聞き手にわかりやすいように話し方をくふうしたりした。  <主> 活動でくふうしたことや気づいたこと、これからの学習でいかしたいと思ったことは何か。	・I can (play the recorder). I can't (run fast). ・Who can (ski)? ・He [She] can (swim well). ・What can you do?  ・語彙：できること / 副詞(well / high / fast)	1	○					聞く	<知識> できることを伝えたりたずねたりする表現 (I [He/She] can 【できること】、Who can 【できること】?、What can you do?)について理解している。 <技能> できることを伝えたりたずねたりする表現 (I [He/She] can 【できること】、Who can 【できること】?、What can you do?)について、聞き取る技能を身に付けている。	友達のことを知るために、友達のできることについて、簡単な語句や基本的な表現を聞き取っている。	友達のことを知るために、友達のできることについて、これまでの学習の中で気づいたことを活かしながら、簡単な語句や基本的な表現を聞き取ろうとしている。						
							2	○		○				読む	—	—	—					
							3	○		○				話す [やり 取り]	<知識> できることを伝えたりたずねたりする表現 (I [He/She] can 【できること】、Who can 【できること】?、What can you do?)について理解している。 <技能> できることを伝えたりたずねたりする表現 (I [He/She] can 【できること】、Who can 【できること】?、What can you do?)について、伝え合う技能を身に付けている。	お互いのことや友達(第三者)のことを知るために、お互いや友達(第三者)のできることについて、簡単な語句や基本的な表現を用いて、伝え合っている。	お互いのことや友達(第三者)のことを知るために、お互いや友達(第三者)のできることについて、これまでの学習の中で気づいたことを活かしながら、簡単な語句や基本的な表現を用いて、伝え合おうとしている。					
							4				○	○		話す [発表]	<知識> できることを伝える表現 (I can 【できること】)について理解している。 <技能> できることを伝える表現 (I can 【できること】)について、発表する技能を身に付けている。	「できることの本」を完成させるために、自分のできることについて、簡単な語句や基本的な表現を用いて、発表している。	「できることの本」を完成させるために、自分のできることについて、これまでの学習の中で気づいたことを活かしながら、簡単な語句や基本的な表現を用いて、発表しようとしている。					
							Sounds and Letters	○	○			○		書く	<知識> できることを伝える表現 (I can 【できること】)について理解している。 <技能> できることを伝える表現 (I can 【できること】)について、文の一部をなぞり書きする技能を身に付けている。	—	—					
		Review				○	○			○												
		10					7				tとdを含む英語とカタカナ語の発音の違い / tとdの音とつづり・聞き取り・発話  アルファベットの大文字の書き方の復習(曲線が入った文字) / 語句の確認 / イントネーション / Lessonのふりかえり											
後期		2 学 期		Lesson 6 Where do you want to go? (pp.62-75)	海外の友達といっしょに行ってみたい都道府県をしようかいるために、そこへ行ってみたい季節、そこでできること、したいことについて、その内容を聞き取ったり、伝えあったり、話したりすることができる。また、アルファベットの大文字を書くことができる。(おたがいに似た形)  海外の友達といっしょに行ってみたい都道府県を伝えよう  Lessonをふりかえろう <知技> ①行ってみたい場所やその理由の伝え方・たずね方を知り、聞いたり言ったりすることができた。 ②行ってみたい場所を伝えるための表し方をなぞり書きすることができた。 ③行ってみたい場所を考えて伝えたり、たずねたりすることができた。  <思判表> ④話し手が話しやすいように聞き方をくふうしたり、聞き手にわかりやすいように話し方をくふうしたりした。  <主> 活動でくふうしたことや気づいたこと、これからの学習でいかしたいと思ったことは何か。	・Where do you want to go? ・I want to go to (Okinawa). ・I want to see (the Okinawa Eisa Festival) (in summer). ・You can (eat Ishikari nabe) in (Hokkaido). ・I want to (see) (beautiful lavender fields). ・We can (enjoy onsen).  ・語彙：形容詞(beautiful / delicious / exciting / fun / great) / 四季	1	○					聞く	<知識> 行ってみたい都道府県のたずね方や答え方、その理由を伝える表現 (Where do you want to go?, I want to go to 【都道府県】、I want to 【したいこと】)について理解している。 <技能> 行ってみたい都道府県のたずね方や答え方、その理由を伝える表現 (Where do you want to go?, I want to go to 【都道府県】、I want to 【したいこと】)について、聞き取る技能を身に付けている。	友達のことを知るために、行ってみたい都道府県やその理由について、簡単な語句や基本的な表現を聞き取っている。	友達のことを知るために、行ってみたい都道府県やその理由について、これまでの学習の中で気づいたことを活かしながら、簡単な語句や基本的な表現を聞き取ろうとしている。						
							2	○						読む	<知識> 行ってみたい都道府県やその理由を伝える表現 (I want to go to 【都道府県】、We can 【できること】)について理解している。 <技能> 行ってみたい都道府県やその理由を伝える表現 (I want to go to 【都道府県】、We can 【できること】)について、読み理解する技能を身に付けている。	相手のことを知るために、行ってみたい都道府県やその理由について、簡単な語句や基本的な表現を読んで理解している。	相手のことを知るために、行ってみたい都道府県やその理由について、これまでの学習の中で気づいたことを活かしながら、簡単な語句や基本的な表現を読んで理解しようとしている。					
							3				○			話す [やり 取り]	<知識> 行ってみたい都道府県のたずね方や答え方、その理由を伝える表現 (Where do you want to go?, I want to go to 【都道府県】、I want to 【したいこと】)について理解している。 <技能> 行ってみたい都道府県のたずね方や答え方、その理由を伝える表現 (Where do you want to go?, I want to go to 【都道府県】、I want to 【したいこと】)について、伝え合う技能を身に付けている。	お互いのことを知るために、行ってみたい都道府県やその理由について、簡単な語句や基本的な表現を用いて、伝え合っている。	お互いのことを知るために、行ってみたい都道府県やその理由について、これまでの学習の中で気づいたことを活かしながら、簡単な語句や基本的な表現を用いて、伝え合おうとしている。					
							4				○	○	○	話す [発表]	<知識> 行ってみたい都道府県やその理由を伝える表現 (I want to go to 【都道府県】、We can 【できること】)について理解している。 <技能> 行ってみたい都道府県やその理由を伝える表現 (I want to go to 【都道府県】、We can 【できること】)について、発表する技能を身に付けている。	海外の友達といっしょに行ってみたい都道府県を紹介するために、そこでできることや理由について、簡単な語句や基本的な表現を用いて、発表している。	海外の友達といっしょに行ってみたい都道府県を紹介するために、そこでできることや理由について、これまでの学習の中で気づいたことを活かしながら、簡単な語句や基本的な表現を用いて、発表しようとしている。					
							Sounds and Letters	○	○			○		書く	<知識> 行ってみたい都道府県やその理由を伝える表現 (I want to go to 【都道府県】、We can 【できること】)について理解している。 <技能> 行ってみたい都道府県やその理由を伝える表現 (I want to go to 【都道府県】、We can 【できること】)について、なぞり書きしたり書き写したりする技能を身に付けている。	—	—					
		Review				○	○			○												
		11					7 (8)				sとzを含む英語とカタカナ語の発音の違い / sとzの音とつづり・聞き取り・発話  アルファベットの大文字の書き方の復習(おたがいに似た文字) / 語句の確認 / イントネーション / Lessonのふりかえり											

2 期 制	3 期 制	月	配 当 時 間	教材名	単元目標／児童のめあて(Goal)／ 「Lessonをふりかえろう」確認事項	扱う内容、表現例・語彙例 (下線は新出※)	パート	中心領域					評価規準					
								聞く	読む	話す [やり 取り]	話す [発表]	書く	領域	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度		
後 期	2 学 期	11	7	Lesson 7 I'd like pizza. (pp.76-85)	オリジナル・メニューを考えて、レストランのロールプレイをするために、注文の受け方や注文の仕方、会計の仕方について聞き取ったり、ていねいな表現を使って注文したりすることができる。また、アルファベットの小文字を書くことができる。(1階建ての文字)  オリジナル・メニューで、ロールプレイしよう  Lessonをふりかえろう ＜知技＞ ①食べ物や料理、ねだんの表現を知り、聞いたり言ったりすることができた。 ②注文を受けたり、注文をしたりする表現を知り、聞いたり言ったりすることができた。 ③おすすめのメニューを考えて、書くことができた。 ④注文を受けたり、注文をしたりするやり取りができた。  ＜思判表＞ ⑤ていねいな表現を使って、気持ちのこもった注文の受け方や注文の仕方をくふうした。  ＜主＞ 活動でくふうしたことや気づいたこと、これからの学習でいかしたいと思ったことは何か。	・What would you like? ・I'd like (pizza and salad). ・How much? ・That's (900 yen).  ・語彙：家族 / 食べ物、飲み物 / 数(110～900)	1	○					聞く	<知識> 食べ物や飲み物の語句や、注文の丁寧な受け答えや値段について伝える表現(What would you like?, I'd like【食べ物】.., How much?, That's【値段】yen.)について理解している。 <技能> 食べ物や飲み物の語句や、注文の丁寧な受け答えや値段について伝える表現(What would you like?, I'd like【食べ物】.., How much?, That's【値段】yen.)について、聞き取る技能を身に付けている。	レストランで料理を注文したり注文を受けたりするために、食べ物や飲み物、値段について、簡単な語句や基本的な表現を聞き取っている。	レストランで料理を注文したり注文を受けたりするために、食べ物や飲み物、値段について、これまでの学習の中で気づいたことを活かしながら、簡単な語句や基本的な表現を聞き取ろうとしている。		
							2	○										
		3								○				読む	<知識> アルファベットの活字体の小文字で書かれた食べ物や飲み物の語句について理解している。 <技能> アルファベットの活字体の小文字で書かれた食べ物や飲み物の語句について、読み理解する技能を身に付けている。	友達がつくったオリジナル・メニューを知るために、食べ物や飲み物について、簡単な語句を読んで理解している。	友達がつくったオリジナル・メニューを知るために、食べ物や飲み物について、これまでの学習の中で気づいたことを活かしながら、簡単な語句を読んで理解しようとしている。	
		4							○	○		○		話す [やり 取り]	<知識> 食べ物や飲み物の語句や、注文の丁寧な受け答えや値段について伝える表現(What would you like?, I'd like【食べ物】.., How much?, That's【値段】yen.)について理解している。 <技能> 食べ物や飲み物の語句や、注文の丁寧な受け答えや値段について伝える表現(What would you like?, I'd like【食べ物】.., How much?, That's【値段】yen.)について、伝え合う技能を身に付けている。	レストランで料理を注文したり注文を受けたりするために、食べ物や飲み物、値段について、簡単な語句や基本的な表現を用いて、伝え合っている。	レストランで料理を注文したり注文を受けたりするために、食べ物や飲み物、値段について、これまでの学習の中で気づいたことを活かしながら、簡単な語句や基本的な表現を用いて、伝え合おうとしている。	
											○				話す [発表]	—	—	—
											書く	<知識> アルファベットの活字体の小文字で書かれた食べ物の語句について理解している。 <技能> アルファベットの活字体の小文字で書かれた食べ物の語句について、書き写す技能を身に付けている。	オリジナル・メニューをつくるために、料理名について、音声で十分に慣れ親しんだ語句の中から適したものを選んで、書き写している。	オリジナル・メニューをつくるために、料理名について、これまでの学習の中で気づいたことを活かしながら、音声で十分に慣れ親しんだ語句の中から適したものを選んで、書き写そうとしている。				
			1		Let's Read and Act ② A Good Idea! (p.86)	絵を見ながら英語を聞いて、物語の流れや登場人物の気持ちの変化を読み取ることができる。また、登場人物になりきって演じることができる。	Go back! / I'm sorry. / Don't worry. など											
					Let's Look at the World ② (p.87)	SDGs をふまえ、日本とアメリカの手話をくらべ、いろいろな言語があることに気づく。	Hello. / Thank you. / Sorry. など											
	3 学 期	1	7	7	Lesson 8 Where is the station? (pp.88-97)	町の地図をつくって案内するために、店や施設などの場所や行き方について聞き取ったり、伝えあったりすることができる。また、例を参考にして場所をあらわす語句を書いたり、アルファベットの小文字を書いたりすることができる。(2階建ての文字)  目的地への行き方をうまく伝えよう  Lessonをふりかえろう ＜知技＞ ①さまざまな施設についての表現を知り、言ったり書いたりすることができた。 ②行き方をたずねたり、案内したりするための表し方を知り、聞いたり言ったりすることができた。 ③行き方をたずねたり、案内したりするやり取りができた。  ＜思判表＞ ④わかりやすい案内の仕方について考え、くふうしながら活動した。  ＜主＞ 活動でくふうしたことや気づいたこと、これからの学習でいかしたいと思ったことは何か。	・Where is (the station)? ・Go straight. ・Turn right [left] at the (first) corner. ・Cross (the street). ・It's on your left[right].  ・語彙：町や学校内の施設 / 前置詞(on / in / under / by)	1	○					聞く	<知識> 施設などの語句や、場所を尋ねたり案内したりする表現(Where is【施設】?, Go straight., Turn right[left] at the【序数】corner.など)について理解している。 <技能> 施設などの語句や、場所を尋ねたり案内したりする表現(Where is【施設】?, Go straight., Turn right[left] at the【序数】corner.など)について、聞き取る技能を身に付けている。	目的地へ行くために、施設や道案内について、簡単な語句や基本的な表現を聞き取っている。	目的地へ行くために、施設や道案内について、これまでの学習の中で気づいたことを活かしながら、簡単な語句や基本的な表現を聞き取ろうとしている。	
								2	○									
3								○		○				読む	<知識> アルファベットの活字体の小文字で書かれた施設名の語句について理解している。 <技能> アルファベットの活字体の小文字で書かれた施設名の語句について、読み理解する技能を身に付けている。	地図記号ガイドをつくるために、施設名を表す語句について、読んで理解している。	地図記号ガイドをつくるために、施設名を表す語句について、これまでの学習の中で気づいたことを活かしながら、読んで理解しようとしている。	
4										○	○		○		話す [やり 取り]	<知識> 施設などの語句や、場所を尋ねたり案内したりする表現(Where is【施設】?, Go straight., Turn right[left] at the【序数】corner.など)について理解している。 <技能> 施設などの語句や、場所を尋ねたり案内したりする表現(Where is【施設】?, Go straight., Turn right[left] at the【序数】corner.など)について、伝え合う技能を身に付けている。	お互いの町を案内し合うために、目的地の施設や行き方について、簡単な語句や基本的な表現を用いて、伝え合っている。	お互いの町を案内し合うために、目的地の施設や行き方について、これまでの学習の中で気づいたことを活かしながら、簡単な語句や基本的な表現を用いて、伝え合おうとしている。
															話す [発表]	—	—	—
			2															

2 期 制	3 期 制	月	配 当 時 間	教材名	単元目標／児童のため(Goal)／ 「Lessonをふりかえろう」確認事項	扱う内容、表現例・語彙例 (下線は新出※)	パート	中心領域					評価規準					
								聞く	読む	話す [やり 取り]	話す [発表]	書く	領域	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度		
後 期	3 学 期	2	7 (8)	Lesson 9 My Hero, My Dream Friend (pp.98-107)	<p>あこがれの人をしようかいるために、その人の職業やできることや得意なこと、特ちょうについて聞き取ったり、伝えあったり、話したりすることができる。また、例文を参考にしてあこがれの人に関する文を書いたり、アルファベットの小文字を書いたりすることができる。(地下1階建ての文字、そのほかの文字)</p> <p>あこがれの人や、友達になってみたい人をしようかしよう</p> <p>Lessonをふりかえろう ＜知技＞ ①人の得意なことや特ちょうを伝えるための表し方を知り、聞いたり言ったりすることができた。 ②人をしようかいる表現を知り、聞いたり言ったりすることができた。 ③あこがれの人や友達になってみたい人を考えて、シートに書き、しようかいることができた。</p> <p>＜思判表＞ ④話し手が話しやすいように聞き方をくふうしたり、聞き手にわかりやすいように話し方をくふうしたりした。</p> <p>＜主＞ 活動でくふうしたことや気づいたこと、これからの学習でいかしたいと思ったことは何か。</p>	<p>・Who is your dream friend[hero]?</p> <p>・This is my dream friend[hero].</p> <p>・He[She] can (swim very fast).</p> <p>・He[She] is (cool).</p> <p>・What are you good at?</p> <p>・I'm good at (cooking).</p> <p>・He[She] is good at (pitching).</p>	1	○				聞く	<p>＜知識＞ 人物の特徴を表す語句や表現 (He[She] can 【できること】.、I am [He is / She is] good at 【得意なこと】.、He[She] is 【特徴】.)について理解している。 ＜技能＞ 人物の特徴を表す語句や表現 (He[She] can 【できること】.、I am [He is / She is] good at 【得意なこと】.、He[She] is 【特徴】.)について、聞き取る技能を身に付けている。</p>	<p>友達のあこがれの人や友達になってみたい人を知るために、その人物の得意なことやできること、特徴について、簡単な語句や基本的な表現を聞き取っている。</p>	<p>友達のあこがれの人や友達になってみたい人を知るために、その人物の得意なことやできること、特徴について、これまでの学習の中で気づいたことを活かしながら、簡単な語句や基本的な表現を聞き取るようとしている。</p>			
						2	○				読む	<p>＜知識＞ 人物の特徴を表す語句や表現 (He[She] can 【できること】.、He[She] is good at 【得意なこと】.、He[She] is 【特徴】.)について理解している。 ＜技能＞ 人物の特徴を表す語句や表現 (He[She] can 【できること】.、He[She] is good at 【得意なこと】.、He[She] is 【特徴】.)について、読み理解する技能を身に付けている。</p>	<p>友達のあこがれの人や友達になってみたい人を知るために、その人物の得意なことやできること、特徴について、簡単な語句や基本的な表現を読んで理解している。</p>	<p>友達のあこがれの人や友達になってみたい人を知るために、その人物の得意なことやできること、特徴について、これまでの学習の中で気づいたことを活かしながら、簡単な語句や基本的な表現を読んで理解しようとしている。</p>				
	3	○				○		○	話す [やり 取り]	<p>＜知識＞ 人物の特徴を表す語句や表現 (He[She] can 【できること】.、I am [He is / She is] good at 【得意なこと】.、He[She] is 【特徴】.)について理解している。 ＜技能＞ 人物の特徴を表す語句や表現 (He[She] can 【できること】.、I am [He is / She is] good at 【得意なこと】.、He[She] is 【特徴】.)について、伝え合う技能を身に付けている。</p>	<p>お互いのあこがれの人や友達になってみたい人を知るために、その人物の得意なことやできること、特徴について、簡単な語句や基本的な表現を用いて、伝え合っている。</p>	<p>お互いのあこがれの人や友達になってみたい人を知るために、その人物の得意なことやできること、特徴について、これまでの学習の中で気づいたことを活かしながら、簡単な語句や基本的な表現を用いて、伝え合おうとしている。</p>						
	4					○		○	話す [発表]	<p>＜知識＞ 人物の特徴を表す語句や表現 (He[She] can 【できること】.、He[She] is good at 【得意なこと】.、He[She] is 【特徴】.)について理解している。 ＜技能＞ 人物の特徴を表す語句や表現 (He[She] can 【できること】.、He[She] is good at 【得意なこと】.、He[She] is 【特徴】.)について、発表する技能を身に付けている。</p>	<p>友達に自分のあこがれの人や友達になってみたい人を知ってもらうために、その人物の得意なことやできること、特徴について、簡単な語句や基本的な表現を用いて、発表している。</p>	<p>友達に自分のあこがれの人や友達になってみたい人を知ってもらうために、その人物の得意なことやできること、特徴について、これまでの学習の中で気づいたことを活かしながら、簡単な語句や基本的な表現を用いて、発表しようとしている。</p>						
						rとlを含む英語とカタカナ語の発音の違い / rとlの音とつづり・聞き取り・発話	Sounds and Letters		○	○								
						アルファベットの小文字の書き方の復習(「地下1階建て」の文字など) / 語句の確認 / イントネーション / Lessonのふりかえり	Review		○	○		○	書く	<p>＜知識＞ 人物の特徴を表す語句や表現 (He[She] can 【できること】.、He[She] is good at 【得意なこと】.、He[She] is 【特徴】.)について理解している。 ＜技能＞ 人物の特徴を表す語句や表現 (He[She] can 【できること】.、He[She] is good at 【得意なこと】.、He[She] is 【特徴】.)について、書き写す技能を身に付けている。</p>	<p>友達に自分のあこがれの人や友達になってみたい人を知ってもらうために、その人物の得意なことやできること、特徴について、音声で十分に慣れ親しんだ語句や表現の中から適したものを選んで、書き写している。</p>	<p>友達に自分のあこがれの人や友達になってみたい人を知ってもらうために、その人物の得意なことやできること、特徴について、これまでの学習の中で気づいたことを活かしながら、音声で十分に慣れ親しんだ語句や表現の中から適したものを選んで、書き写そうとしている。</p>		
				My Word Bank (pp.108-113)	自己表現活動に役立つ語や表現を参照する	自己しようかい(好きなもの) / 身のまわりのもの / 場所 / すること / 食べ物、飲み物												
				Let's Enjoy the Music It's a Small World (p.114)	歌を鑑賞し、歌のメッセージを受け取る	英語の音声												
				Supermarket Jingle, Forest Jingle (p.115)	アルファベット26文字について代表的な音素を含む語を口慣らしする	語彙：食べ物 / 動物 / 身のまわりのもの												
				ローマ字表 (p.116)	ヘボン式ローマ字の表記を確認する													
				合計 67 (70) 時間														

●巻末資料 アルファベット表・英語を書くときのルール

※配当時間と合計の時数は、精選時数です。( )で示した時数は、標準時数になります。